

「流行語大賞」と共に、毎年話題となる「今年の漢字一文字」には『密』が選ばれ、清水寺の森清範貫主が揮毫する場面がニュースとなっていました。候補となっていた10文字のうちの8文字がコロナ関連だったそうで、やっぱり今年1年を象徴する言葉も漢字も、予想される結果となりました。それにつけても、去年の今頃は今のような状況は、全く想像できなかったな〜と、改めて思う今日この頃です。

無事、第2学期終業式。お世話になりました。!

1学期のうちに、土曜授業を実施し、臨時休校分の授業時数を確保できたおかげで、予定通り本日、23日に終業式を迎えることができました。1学期の第一波のコロナ流行の時はどうなるのかと先々が案じられましたが、コロナ対策に万全を期し、新しい生活様式の導入により、今の時点ではほぼ通常どおりの教育課程が履修できました。度重なる状況の変化と対応に保護者の方にはご心配をおかけしましたが、なんとかこの日を迎えられたことを、うれしく思うと同時に、感謝申し上げます。今なお終息しない感染状況の中で、今後どうなるかはわからないわけですが、これからも生徒の学校生活における安全・安心の確保の上に、充実した学校教育の運営に努めて参りますので、何とぞよろしくご協力をお願いいたします。

今回も終業式における式辞をもって今学期の締めくくりとさせていただきます。

83日間の2学期が今日で終了となり、同時に2020年も終わろうとしています。コロナに始まりコロナに終わる年、の印象がどうしても残ってしまっていますが、皆さんにとってはどういう1年でしたか? いい1年になりましたか?

ニュース番組のトップはほぼ毎日、コロナの感染状況に始まり、その大半がそれに伴う政策や対応に関する内容で、突然に告げられる宣言や指示は、学校生活にも臨時休校や新しい生活様式など、想定外の大きな影響をもたらしました。コロナによって、楽しみにしていた様々な行事も、中止や規模の縮小を迫られ、十分な達成感を持てなかったことも決して少なくはありません。

でも、時間を元に戻すことはできないし、何もなかったことにするにはあまりにもことが大きすぎます。現実を現実として受け止め、それをどのようにとらえていくかは、結局のところ自分自身の考え方しかありません。最悪の年だった、何もいいことがなかったと嘆いて終わるか、そんな中でも何かつかむことができた、成長した1年だったと考えるか。私は迷わず、後者をとるだろうと思うし、生徒の皆さんにもそう考えてほしいと思います。皆さんが今年1年でできるようになったこと、成長したなと感じること、その部分にこそ焦点をあてて、楽しかったこと、乗り越えたことを糧として、より大きく成長してほしいと思います

さて、皆さんはこの写真の人が誰かわかりますか?・・・

今年初めて行った手話教室がヒントです。

そうです。ヘレン・ケラーです。ヘレン・ケラーはアメリカの人で、生まれて間もない頃から、目が見えない、耳が聞こえない、話すことができないいわゆる三重苦の障害を持ち、それでもサリバン先生と共にその障害を乗り越え、晩年は世界各国を訪問しながら平和と平等、人々の幸福を訴えた人です。「奇跡の人」と呼ばれ、その人生は多くの人々に感動と勇気をもたらしました。

ヘレン・ケラーは、こう言っています。「世の中は辛いこといっぱいですが、それに打ち勝つことも満ちあふれています。」「うつむいてはいけません。いつも頭を高くあげていなさい。世の中を真っ正面から見つめなさい。」ま



さに今年はそういう1年であったような気がします。また、こうも言っています。「1つの幸せのドアが閉じるとき、もう一つのドアが開く。しかし、よく私たちは閉じたドアばかりに目を奪われ、開いたドアに気づかない。」これも、確かに当てはまることです。そして最後に最もヘレン・ケラーらしい言葉を紹介します。「私は自分の障害を神に感謝しています。私が自分を見だし、生涯の仕事、そして神を見つけることができたのは、この障害を通してだったからです。」大切なのは、やはり自分の意思、考え方、心だということだと思います。

さまざまな困難な出来事はこれからも続いて起こってきます。おそらくこのままいけば、来年もコロナに始まることになるのではないのでしょうか。それでも、私たちは前を向いて生きていかなばなりません。困難に打ち克ち、乗り越えていく強い意思をしっかりと心に宿し、一步一步前を向いて歩いて行きましょう。

また、そのためには、やはり普段の生活が大切です。感染症にかからない予防策をしっかりと行い、新しい生活様式を守り、健康で、事故に遭わずに、明るく生活するように努めてください。そして、来年の1月8日、また一回り成長した皆さんにここで会えることを楽しみにしています。



楽しい書道教室！

10日（木）と11日（金）の2日間にわたり、例年行っている書道教室が実施されました。講師の先生は昨年度に引き



き続き、地元西海枝在住で、学校評議員も務めてくださっている岩崎豊先生です。ここ数年ずっと子ども達の書き初めを見てくださっています。そして、これもいつものことなのですが、岩崎先生は子どもたちに教えることを大変喜んでくださっており、生徒とともに楽しい時間を過ごしたと、おっしゃっていました。ありがとうございました。

天高く舞い上がれ！

花丘祭での披露のために作製した連凧を、先日何人かの生徒と揚げました。凧には全校生徒一人1人の好きな漢字が書かれています。1度目は学年ごとに、2度目は1本に繋いで40連凧にしました。どちらの日も天候に恵まれ、青空に美しく舞い上がっていました。空高く揚がる凧のようにみんなの願いが叶いますように・・・！



「正月（むつき）立つ 春の初めに かくしつ 相し笑みては いまじけめやも」

（大伴家持）

（大意：正月の春の初めにこのように共に笑い合うのは楽しいひとときですね。）

コロナ禍ではありますが、また、来年も皆様と笑顔で会えることを楽しみにしています。

「皆様、よいお年をお迎えください。！」